

事業所名

縁むすび

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

30 目

法人（事業所）理念		障害と共に生きる（Live with disabilities）										
支援方針		コミュニケーション能力の訓練と日常生活の支援を行う。遊びの中で人とどう関わるのかを個々の成長と発達に合わせて支援していく。										
営業時間		平日 学校休業日	14 10	時 00	00 分	から 17 16	時 00	00 分	まで	送迎実施の有無	あり なし	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄、衣服の着脱、身の回りを清潔にすること等の基本的な生活に必要な技能を習得し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるように支援する。生活の中で、様々な遊びや体験を通した学びが促進されるよう環境を整え、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。										
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、リズム体操などによる体力・筋力の維持・強化を図る。感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りによる環境調整等の支援を行う。										
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援する。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切な行動への対応を支援する。										
	言語 コミュニケーション	障害の種別や程度、興味、関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器（タブレット等のICT機器を含む）等を用いて意思のやり取りが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力と身につけることが出来るように支援する。										
	人間関係 社会性	遊びやソーシャルスキルトレーニング等を通じて社会性の発達や対人関係の構築を支援する。他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働きかけを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動が出来るように支援する。										
家族支援		家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助、家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預りニーズに対応するための延長支援を行う。							移行支援		卒業後の移行先との支援方針・支援内容の共有や、利用児童の状態・保護者の意向、支援方法についての伝達を行う。移行先や進路の選択についての本人や家族への相談援助を行う。	
地域支援・地域連携		利用児童の通う学校や放課後等デイサービスなどの情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助を行う。利用児童の生活環境を踏まえ必要に応じて児童相談所やこども家庭センターとの情報連携を行う。							職員の質の向上		年間研修計画を定め、虐待防止（身体拘束適正化）・感染症対策・BCPなどの研修を実施する。	
主な行事等		避難訓練（年2回）、ハロウィン・クリスマス・夏祭り・お正月など季節に合ったイベントを開催										